

【様式1-1】

遠別町 橋梁長寿命化修繕計画

平成 25 年 2 月

(平成31年12月 様式1-1,1-2改訂)

遠 別 町 経 済 課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

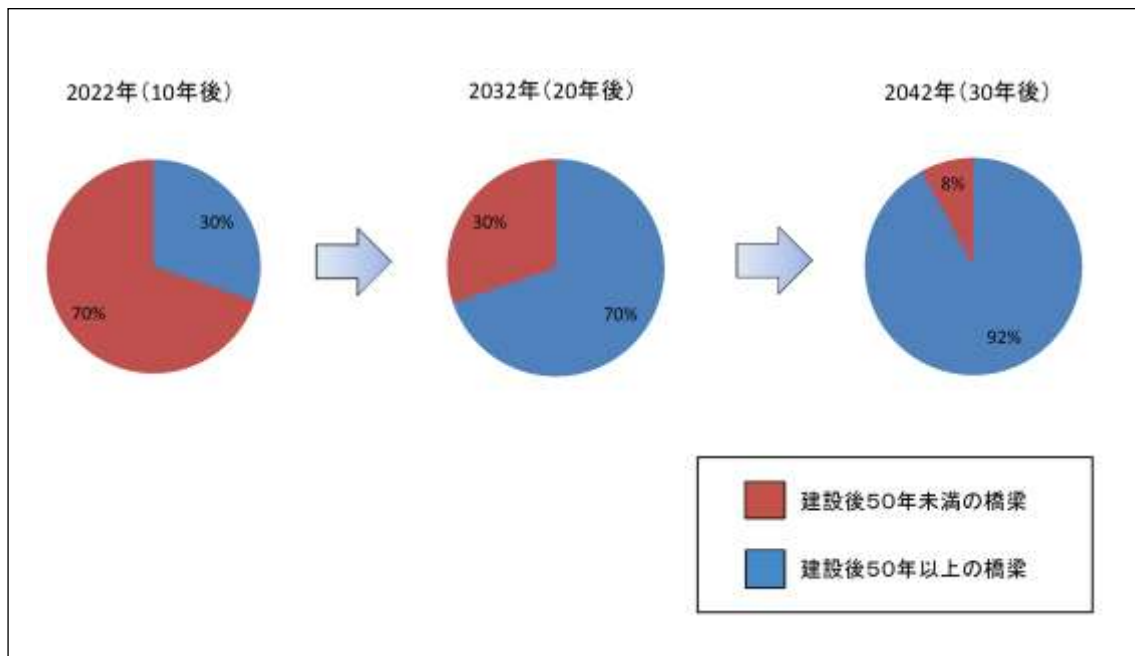
遠別町が管理する 77 橋の道路橋のうち 2019 年現在、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁はわずか 4 橋であるが、今後 30 年後には管理橋梁全体の 90% を超過し、急速に高齢化橋梁が増大する。

したがって、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架け替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

2) 目的

遠別町管理の橋梁を良好な状態で末永く利用していくために、定期点検等により橋梁状態を正確に把握し、これまでの事後保全型対応から予防的な修繕、計画的な架替え等、予防保全型対応への転換を図り、道路の安全性・信頼性を向上させ、修繕・架替えに係る費用の最適化および縮減を図ることが重要である。これらをより効率的・具体的に実施していくために、橋梁長寿命化修繕計画策定を行うものである。

遠別町 管理 77 橋における建設後 50 年以上経過橋梁の占有率推移



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1) 対象橋梁

	1 級町道	2 級町道	その他町道	合 計
策定計画対象橋梁	16	12	49	77

2) 現在の長寿命化修繕計画の期間

2015 年～2026 年の 10 年間

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

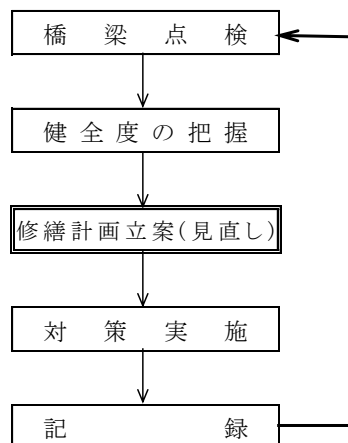
遠別町の立地条件や橋梁の架設年度を十分考慮して点検を実施するものとし、その内容は「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」（国交省・国総研）に基づいて行い、橋梁の損傷を早期に把握するとともに、劣化進行程度を管理する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好状態に保つため、定期点検、異常時点検の他、日常的な維持管理として、橋梁を含めた道路パトロールや清掃などに努める。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

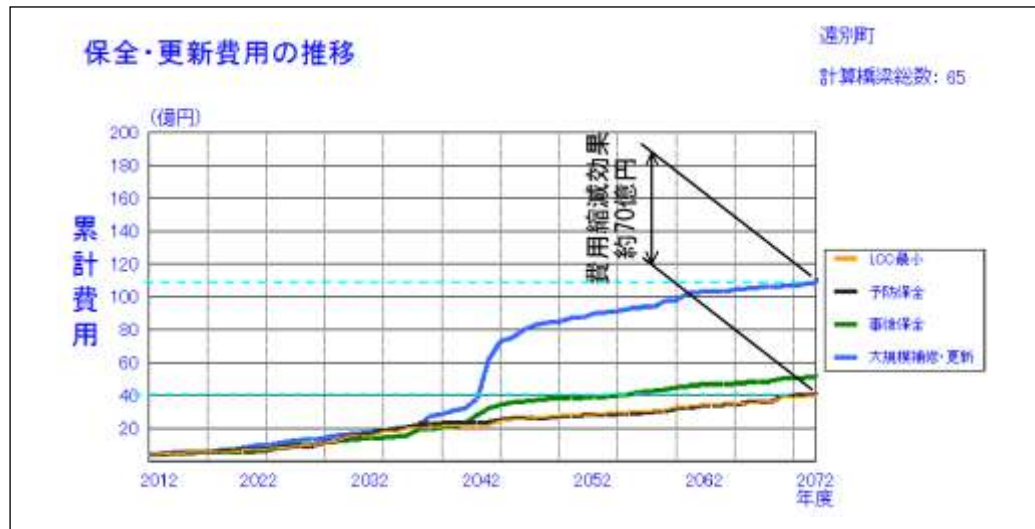
- ・各橋梁点検結果及び架橋環境条件等から、損傷に対し事前に劣化予測を行い、これらの予防的修繕の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コストを回避し、ライフサイクルコストの縮減を図る。
- ・詳細点検に基づく橋梁の健全度把握および損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直す。
- ・個別施設状況については、別紙判定区分一覧による
- ・新技術の活用を令和元年度以降、計画設計調査時に検討しコスト縮減を計る



図一 橋梁長寿命化修繕計画の流れ

6. 長寿命化修繕計画による効果

今後 60 年の修繕・架替え工事費（予防保全型、事後保全型）を試算した結果、予防保全型の累計は約 40 億円、大規模補修・更新型の累計は約 110 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 70 億円のコスト削減効果が期待出来る。



7. 短期的目標

今後、すべての橋梁で新技術を検討する。

今後 5 年程度で、管理する 77 橋のうち、約 1 割の橋梁で新技術を活用し、維持管理コストを約 1 割程度縮減することを目指す。

今後 5 年程度で、迂回路が存在し集約が可能な橋梁について存在しないため、集約化・撤去を検討の可能性について検討する。将来的な維持管理コストの縮減額検討することを目指す。

8. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

北海道 遠別町 建設課 技術係 Tel 01632-7-2111 (内線 245)

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

北海学園大学 工学部社会環境工学科 教授 杉本 博之